



WSC 発足 25 周年にこと寄せて

理事（千葉県船橋市）

NPO 法人ワールドステイクラブが発足 25 周年を迎えるにあたり、今まで様々な活動に従事されてこられた方々にお祝い申し上げます。

私が入会したのは 2011 年 10 月で、メンバーズカードをみると今年で 10 年経過し、有効期限が 10 月 1 日となっています。この寄稿という機会に、会社勤務卒業後の人生を振り返ってみます。

退職した当初、国内旅行や国内行事に参加していました。WSC に入会後感じたのは、企画がいろいろユニークで旅行社や今までの自分の経験と異なり、興味の手持てるものが多かったように記憶しています。

WSC のホームページ HP をリニューアル

HP 更新を主に会のボランティアを依頼され、能力も無いのに引き受けたのが皆さまに迷惑をおかけしてしまった次第です。昨年末プロの方に更新の実務作業を委託することを決定し、今春（2020 年）になってようやく HP を一新できました。



HP 更新作業で、WSC の活動内容の理解が少しずつ進み、過去、現在に活動されている方の苦勞や凄さが感じられ、HP を通して WSC の理念・活動を広く世間に宣伝し、会員数増強や会員相互のつながりを深めることを目標に、作業を進めています。時代の変遷に対応した、タイムリーな企画を素早く伝え、質問・要望にも応えていきたいので HP の閲覧・活用をお願いいたします。

会員専用コーナーをお忘れ無く！

放送大学で伊豆半島のプレート移動を知る

ここからは、私の個人旅行の話です。

放送大学の面接授業で、日本列島地質旅行を受けてジオパークについて学びました。温泉や海鮮の景勝地、南端の下田は幕末開国の歴史を刻むなどがイメージの伊豆半島ですが、地質学的には興味ある様相をもって

います。フィリピン海プレートが本州を押し続け、列島中部の赤石山地は年間約 4mm という有数の速さで隆起させています。

プレートが動くと火山ができます。伊東市の大室山は円錐形のスコリア丘の火山です。春先の山焼きでは、麓から頂上に向かって野焼きの煙が這い上がるのが風物詩になっています。この付近はゼンマイ、ワラビの春の野草が豊富で、山焼きの御利益だそうです。



アイスランドで地球規模のプレート移動に驚愕

プレート移動がきっかけで、海外旅行に目を向けるようになりました。また、プレートがある地面ではなく天空のオーロラも気になりだしました。島全体がオーロラベルトに入り、その両方が鑑賞できるアイスランドに旅行しました。

大西洋から湧き出すマントルによるプレート移動が、地上に出現したのがアルマンナギャウです。ユーラシアプレートと北米プレートが分かれる、地球規模の割れ目です。年間 1~2cm 広がり続けています。ギャウとは、アイスランド語で、割れ目の意味だそうです。プレート境界線を歩き、天地創造主の偉大さをまざまざと感じました。



天空の舞、念願のオーロラを見ることができました。極北の美の極みです。グラデーション豊かに、多彩な色彩に揺らぎながら舞い踊るさまは、自分も天空に引き込まれそうな、自分も飛んでいるような幻想、幻惑でした。



世の中興味を引くことで満ち満ちています

これからもあれこれ勉強し知的充実をはかり、個人旅行もして身体の実感をはかることができる、ターゲットを探索するつもりです。

同好の志の方、ご一緒しませんか！